



取材協力：熊本県・玉名(たまな)市



「竹あかりのライトアップ」
 全国各地でその風景を生かした「竹あかり」を灯(あかり)をつけている「CORTKAKEMEN(かかせん)」さんによるオブジェが庭園を彩(いろど)ります。
 文京区と熊本が「コラボをし、なかと会場には熊本県のPRキャラクター「くまモン」が来ました。くまモンがシャッターを撮ってきた時、熊本県が作った「金栗(かなぐり)かなく(り)さん」を着ていました。とても可愛かったです。ライトアップでは、水面(みなも)に映(うつ)り出(で)る紅葉(もみぢ)の姿(すがた)がとてもきれいで、ぜひみなさんも一度は見てほしいですね。」
 (小5/MO記者)



竹を使った美しいあかり

©2010 熊本県 くまモン 協力 銀座熊本館



金栗さんはマラソン足袋(たび)で走った

文京区立肥後細川庭園(文京区目白台1-1-22)は、肥後熊本藩五十四万石の大名・細川家の下屋敷跡であり、文京区と熊本県、熊本市は文化的な結びつきから平成27年に覽書を締結(ていごう)した後、様々な取り組みを行っています。今回は竹あかりによるライトアップのほか復興支援イベントも同時開催されました。

オリンピック・パラリンピック こども新聞

第5号
 平成31年(2019)
 1/23

オリンピックがつつなく縁

11月22日(木)、肥後細川庭園松管閣(ひごほそかわていえん)しょうせい(か)くの「秋の紅葉ライトアップ」の「竹あかり」を取材しました。

金栗(かなぐり)かなく(り)さんのことを知っていますか？

金栗四三(かなぐりしゅうざん)さんは明治24年に生まれました。明治45年のオリンピックに「JAPAN」ではなく、「NIPPON」という表記(ひょうじ)で参加した1人です。7月の第5回オリンピック・ストックホルム大会(スウェーデン)に日本人初の出場(しゅつじょう)で、暑(あつ)さのため26・7キロ地点(ちてん)で棄権(きけん)してしまいました。
 その後、昭和42年(1967年)3月にオリンピックストックホルム大会開催55周年記念式典(きねんしきてん)に招待(しょうたい)され、スウェーデンを訪問(ぼんぽん)し、「棄権(きけん)」ではなく「行方不明(いりかたふみょう)」(ゆくえふめい)となったため、ス

体力！ 気力！ 努力！

「日本マラソンの父」と呼ばれる金栗四三さんについて取材しました。大河ドラマ「いだてん」の主人公(しゅじんこう)でもあります。ストックホルムオリンピックは棄権(きけん)しましたが行方不明(いりかたふみょう)といわれたため、記録が54年(ごじゅうよん)8月(ごご)6日(にち)5時間32分20秒(ごじゅうごうしゅうごふじゅうにびんごふじゅうにびんご)となってしまった苦勞(くるらう)もありましたが、「アテコ」のマークのモデルや、箱根駅伝(はこねえきでん)の創設(そうせつ)など、現在(いま)にも受け継(つ)がれる事(こと)や世界記録(せかいきろく)を樹立(じゆりつ)した人(ひと)です。大河ドラマが楽しみです。(小5/YK記者)



金栗四三

玉名の誇り！ 同田貫(どうでんぬき)

江戸時代の平和な世でも実用(じつよう)刀(やいば)として使(つか)われてきた刀(やいば)「同田貫(どうでんぬき)」を見(み)せていただきました。同田貫(どうでんぬき)とは今回(こんごう)熊本県(くまもと)の広報(こうほう)のために肥後細川庭園(ひごほそかわていえん)に来(き)た熊本県(くまもと)玉名市(たまな)で刀(やいば)を作(つく)っているグループ(ぐるーぷ)の名前(なまえ)です。最初(さいしょ)にもあるように戦(いくさ)いがなかつた江戸時代(えどじだい)でも、見る(みる)ため(ため)にはなく訓練(くんれん)をする(する)ために作(つく)られていた(いた)ほど良い刀(やいば)です。(小5/YK記者)



- 2面 嘉納治五郎師範とオリンピック
- 3面 女子サッカーカンファレンスとてしごじやぱん 東京ガス「片手でクッキング」体験会
- 4面 ラグビーワールドカップ1年前記念イベント パラリンピック2年前イベント
- 5面 スポーツとボーカロイドミュージック こころのバリアフリー

人々を育み続けた教育者たち

近代オリンピックの父といわれるクーベルタンをはじめ、アジア初のIOC委員として東京開催に尽力(じんりき)した嘉納治五郎(かのうじごろう)も、嘉納治五郎(かのうじごろう)とてしごじやぱん、選手(せんしゅ)としてマラソンに参加(とく)した金栗四三(かなぐりしゅうざん)も、京高等師範(きやうこうとうしほん)学校在(がくせい)在(ざい)籍(せき)は共(とも)に教育者(きやういくしや)でした。
 文京区(ぶんきやうく)では東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(オリンピック・パラリンピックけいぎたいかい)に向けて、文京(ぶんきやう)の地(ち)からの熱量(ねつりやう)の発信(はつしん)を目指(めざ)し、様々なプログラムを展(ひら)かしていきま



嘉納治五郎



嘉納治五郎と金栗四三は東京高等師範学校(とうきやうこうとうしほんがくせい)校(がくせい)在(ざい)籍(せき)は共(とも)に教育者(きやういくしや)でした。

「大河ドラマ『いだてん』主人公 金栗四三の青春の地・文京区」プロジェクト

- スタンプラリー**
 - 【会期】2019年1月23日(水)～5月17日(金)
 - 【概要】金栗四三が東京高等師範学校への通学時に利用したであろうルート周辺の施設等7か所を、文京区観光アプリを活用して巡るスタンプラリー
- 企画展**
 - 【会期】2019年3月23日(土)～3月28日(木)
 - 【会場】文京シビックセンター1階 キャラリーシビック
 - 【概要】金栗四三や嘉納治五郎が活躍した時代をVR映像やエピソードを交え紹介する企画展
 - ※文京区ふるさと歴史館でも4月13日(土)～5月12日(日)まで展示を実施。
- トークショー**
 - 【会期】2019年3月23日(土)
 - 【会場】文京学院大学
 - 【概要】中村勤九郎氏(金栗四三役)、生田斗真氏(三島弥彦役)によるトークイベント

※各事業の内容は、1月25日発行の区報ふんきょう1面に募集内容を含め掲載します。

かきこくこくこくこく
嘉納治五郎師範とオリンピック



真田 久(さなだひさし)さんに嘉納治五郎について聞いてみた

嘉納治五郎さんとは？

10月28日(日)、嘉納治五郎師範生誕祭のイベントの取材を行いました。講演(こうえん)された真田さん(まの)について嘉納さん(かの)のことをどう思っているか、質問しました。すると、真田さんは嘉納さんは東京高校校長や、宏文学院長となっているが、生徒や留学生を教育するというのが、教育者としてはすごい人を教えるとしてはすごいと思った、と言っていました。(小5/C・K記者)

中止のオリンピック

1940年日本でかいさいされるはずのオリンピックが中国との戦争がひどくなり、中止になりました。第2候補(こうほ)としてうぼだったヘルシンキ(ヘルシンキ)オリンピック(オリンピック)の周りでも戦争がはげしかったので、1940年のオリンピックが中止になりました。



2020年のオリンピックは平和に始まり、終わってほしいです。オリンピックは政治のえいぎょうを受けるべきではないと嘉納先生(かの)がいったことが印象に残りました。(小5/R・M記者)

金栗さんの種目「マラソン」では、たくさんの方が棄権(きげん)する中、金栗さんも途中(ちゅう)で中断(ちゅう)しました。そして54年後、1967年3月21日、金栗さんは走りまわりました。日本の金栗、たまたまゴールイン。タイム54年8ヶ月6日5時間32分20秒3。これをもって第5回ストックホルムオリンピック大会の全日程を終了(しゅう)しました。そして金栗さんは言います。わたしはこのマラソンの間、父の孫を作りました。来年は大河ドラマで金栗さんについてやります。ぜひ見てください。(小5/S・K記者)

※日射病(ひやせびょう)について失神(しっしん)しました(小5/C・K記者)

尾縣(おがたみづき)さん(小5/R・M記者)がインタビューについてインタビュー

心技体の関係

マラソンについて講演(こうえん)された尾縣(おがた)さんはマラソンだけでなく、スポーツや学習(がくしゆ)の中にも「心技体の関係」というものがあると書いていました。心は「精神・技は「技術・体は「体力」という意味(いみ)で成り立っています。心は「姿勢(せいし)」、技・体は「心か」と表(あらわ)した場合、もし心が緊張(きんじやう)していたりすると、心は「ココロ」と変わってしまい、すると技・体のバランスがくずれてしまい、そのせいで戦(いくさ)うことができなくなってしまう、と言っていました。だからスポーツというものはおもしろい、と話していました。(小5/C・K記者)



生誕祭(せいたんさい)シンポジウムの様子

2人の元選手と1人の現選手のお話

ぼくは、谷本(やまもと)さんが言っていた一本じゅう道(いっぴんじゅうだう)という言葉(ことば)が一番(いちばん)しょうに残(のこ)りました。負け(まけ)続けている時に「二本じゅう道(にほんじゅうだう)にたわっているから勝(か)てないんだ」という周囲(まわり)の言葉(ことば)に心が折(お)れたと言(い)っていました。けれど谷本(やまもと)さんは、本じゅう道(ほんじゅうだう)をつらぬき、金メダル(きんめだる)をとりました。これは本当に(まことに)すごい事(こと)だと思いました。

ぼくなら、そんなすごい言葉(ことば)を耳(みみ)にしたら、周囲(まわり)の人(ひと)からそんな事(こと)をいわれてしまったら、じゅう道(じゅうだう)をやめる(や)たくを(を)してしま(しま)うかもしれないから、やめ(め)ないで、自分の(じぶんの)やり方(かた)をつらぬく(ぬ)くという強(かち)く熱(あつ)いじゅう道(じゅうだう)への想(おも)いを聞(き)いて、ぼくもじゅう道(じゅうだう)の来自(ら)い自分の(じぶんの)気持ち(こころ)を信(ま)じて、テニスをがんば(ばん)っていき(い)たいと思(おも)いました。

また上野(うえの)さんのいじめの話(はなし)もショック(ショック)でしたが、じゅう道(じゅうだう)があつて心が強(かち)くなれたと聞き(き)き、そして石井(いしゐ)選手(せんしゆ)の見(み)えに、い(い)中(ちゆう)でもがんば(ばん)れるじゅう道(じゅうだう)があるのは、信(ま)じる物(もの)があるという事(こと)は、大切(たいせつ)なこと(こと)も強(かち)く思(おも)いました。(小5/K・S記者)



同時開催(どうじくわい)かきさいされた嘉納治五郎師範生誕祭(かのぢごろうしはんせいたんさい)のチラシ資料(しりし)提供(ていきょう)：公益財団法人(こういざいざいじん) 講道館(こうだうかん)

54年のマラソン

金栗(かねぐり)四三(よんざ)さん。その人は元々(もともと)嘉納治五郎(かのぢごろう)さんが学長(がくちやう)だった学校の生徒(せいと)でした。そして日本初(にっぽんはつ)のオリンピックとなる1912年ストックホルムオリンピックに参加(とけい)した一人(ひとり)です。他(ほか)には団長(だんちやう)の嘉納(かの)さん、東京大(とうきやう)学(がく)区(く)出身(しゆしん)の三島(みやま)彦(ひこ)さんなど、嘉納(かの)さんは文京区(ぶんきやう)の講道館(こうだうかん)、三島(みやま)さんは文京区(ぶんきやう)の東京大(とうきやう)学(がく)、金栗(かねぐり)さんは高師校(こうしこう)卒業(そつぎやく)。(高師校(こうしこう)は文京区(ぶんきやう)区(く)にあつた)と全員(ぜんいん)文京区(ぶんきやう)区(く)に関係(かんけい)があつた。



尾縣(おがたみづき)さん(小5/R・M記者)がインタビューについてインタビュー

Q. 東京マラソンのコースの違いはなんですか？
A. 東京マラソンは、下り坂(くだりざか)を走り、そのまま平たんな所(ところ)を走るけれど、オリンピックは下り坂(くだりざか)を走り、また最後に上り坂(あがりざか)を走るといふ所(ところ)です。
Q. どのような所に気をつけてコースを決めますか？
A. 東京(とうきやう)の名所(ななところ)や有名な目(め)でもらいたい所(ところ)などをコースに決め、また交通(こうつう)の便(べん)がいいか、かからないようにして、ちょうどよい環境(かんげい)がある所(ところ)をコースに選びます。

このしつもんでは、文京区(ぶんきやう)区(く)はともポイントとなる所(ところ)なので、ぜひみてみたいですね。(小5/R・M記者)



東京オリンピック・パラリンピックのマスコットを抱(かか)いだした谷本歩実(たにもとあゆみ)さん(左)と上野順恵(うえのよしえ)さん(右)。右から二人めは石井亜弧(いしいあゆみ)選手

嘉納治五郎師範生誕祭講演(こうえん)のあと、谷本(やまもと)さん、上野(うえの)さん、石井亜弧(いしいあゆみ)選手(せんしゆ)にお話(おはなし)をうかがいました。

Q. メダルの重(おも)さは何(なん)グラムですか？
A. アテネオリンピック — 130グラム
北京オリンピック — 200グラム
ロンドンオリンピック — 400グラム
リオオリンピック — 500グラム
東京オリンピック — 500グラム

と、谷本(やまもと)さんが教えてくれました。メダルの重(おも)さは同じだと思(おも)っていたけど、違(ちが)っていてびっくりしました。

Q. 練習(れんしゆ)時間はどのくらいですか？
A. 石井(いしゐ)選手(せんしゆ)は2時間(2じゆうかん)30分(30ぶん)～3時間(3じゆうかん)、全日本(ぜんにっぽん)の選手(せんしゆ)を教(おし)えている上野(うえの)さんによると、選手(せんしゆ)はトレーニングを1時間(1じゆうかん)、練習(れんしゆ)を3時間(3じゆうかん)30分(30ぶん)、合計(ごうけい)4時間(4じゆうかん)30分(30ぶん)くらいするそうです。

私はこれから、谷本(やまもと)さん、上野(うえの)さん、石井(いしゐ)選手(せんしゆ)が言(い)っていた、感謝(かんしゃ)を忘(わす)れず、負(ま)けた時は悔(くやし)さをエネ(ene)ルギーにして、前(まへ)に進(すす)み続(つづ)けて行(い)きたいです。(小5/M・O記者)

